

熱中症 屋内でも発症

搬送6割高齢者／部活の中高生

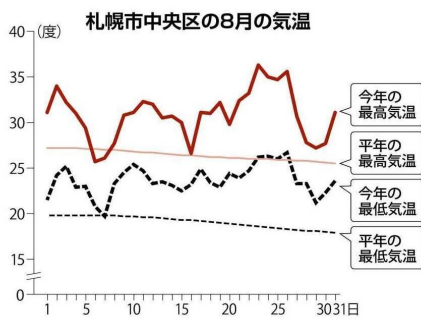
熱帯夜影響、エアコン必須に

戦後最も暑かった今夏の道内。過去最多となった熱中症による搬送者の6割を65歳以上の高齢者が占めた。熱中症で搬送された中高生でも、今夏は屋外での運動中だけでなく、エアコンのない屋内でスポーツをしていて搬送されたケースが相次いだ。昼間の暑さに加え、最低気温が25度以上の熱帯夜が続いたことが影響したとみられ、温暖化で来夏以降も道内の猛暑日が増え、いく傾向にある。住居や体育館などへのエアコン設置が道内でも不可欠になり始めている。

(1面参照)



札幌市中央区で観測史上最高の気温36.3度となった8月23日正午、同市厚別区の「特別養護老人ホームあつぱつ南」では、室温25度に保たれた共用スペースで、窓を開けると暑い風が吹き



札幌市中央区で観測史上最高の気温36.3度となった8月23日正午、同市厚別区の「特別養護老人ホームあつぱつ南」では、室温25度に保たれた共用スペースで、窓を開けると暑い風が吹き

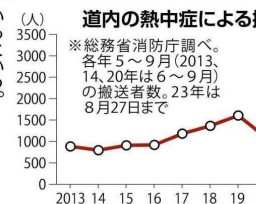
天井に付いたエアコンで快適な室温に保たれた室内で昼食を取る入居者たち。8月23日札幌市厚別区の「特別養護老人ホームあつぱつ南」5丁目

札幌市中央区で観測史上最高の気温36.3度となった8月23日正午、同市厚別区の「特別養護老人ホームあつぱつ南」では、室温25度に保たれた共用スペースで、窓を開けると暑い風が吹き

天井に付いたエアコンで快適な室温に保たれた室内で昼食を取る入居者たち。8月23日札幌市厚別区の「特別養護老人ホームあつぱつ南」5丁目

天井に付いたエアコンで快適な室温に保たれた室内で昼食を取る入居者たち。8月23日札幌市厚別区の「特別養護老人ホームあつぱつ南」5丁目

天井に付いたエアコンで快適な室温に保たれた室内で昼食を取る入居者たち。8月23日札幌市厚別区の「特別養護老人ホームあつぱつ南」5丁目



道内は1日、暖かく湿った空気が流れ込み、前線が南下した影響で、日本海側を中心に激しい雨が降った。午後7時までの12時間降水量は留萌管内遠別町で85.5ミリとなり9月の最多記録を更新。大雨の影響でJR北海道は特急18本を含む列車計78本を運休または部分運休し、約4千人に影響が出た。一方、道東26地点で最高気温が30度以上の「真夏日」となり、道内の真夏日は44日連続と最長を更新した。

道内は1日、暖かく湿った空気が流れ込み、前線が南下した影響で、日本海側を中心に激しい雨が降った。午後7時までの12時間降水量は留萌管内遠別町で85.5ミリとなり9月の最多記録を更新。大雨の影響でJR北海道は特急18本を含む列車計78本を運休または部分運休し、約4千人に影響が出た。一方、道東26地点で最高気温が30度以上の「真夏日」となり、道内の真夏日は44日連続と最長を更新した。

道内は1日、暖かく湿った空気が流れ込み、前線が南下した影響で、日本海側を中心に激しい雨が降った。午後7時までの12時間降水量は留萌管内遠別町で85.5ミリとなり9月の最多記録を更新。大雨の影響でJR北海道は特急18本を含む列車計78本を運休または部分運休し、約4千人に影響が出た。一方、道東26地点で最高気温が30度以上の「真夏日」となり、道内の真夏日は44日連続と最長を更新した。

宅康史教授は「猛暑日や熱帯夜が続くと疲れが取れず、熱中症患者が増える」と指摘する。札幌市中央区で5夜連続の熱帯夜を観測した8月22、26日を含む1週間の熱中症搬送者は、935人で今夏の搬送者全体の3割に上っている。

環境省と気象庁は熱中症予防のため「昼夜を問わずエアコンを使用すること」を呼びかけるが、内閣府の消費動向調査によると、比較的涼やかな北海道と東北6県のエアコンの普及率は全国平均を20%超下回る71%。文部科学省によると、道内の公立小中学校のエアコン設置率は16.5%で、全国平均95.7%に大きな差がある。

道内は1日、暖かく湿った空気が流れ込み、前線が南下した影響で、日本海側を中心に激しい雨が降った。午後7時までの12時間降水量は留萌管内遠別町で85.5ミリとなり9月の最多記録を更新。大雨の影響でJR北海道は特急18本を含む列車計78本を運休または部分運休し、約4千人に影響が出た。一方、道東26地点で最高気温が30度以上の「真夏日」となり、道内の真夏日は44日連続と最長を更新した。

道内は1日、暖かく湿った空気が流れ込み、前線が南下した影響で、日本海側を中心に激しい雨が降った。午後7時までの12時間降水量は留萌管内遠別町で85.5ミリとなり9月の最多記録を更新。大雨の影響でJR北海道は特急18本を含む列車計78本を運休または部分運休し、約4千人に影響が出た。一方、道東26地点で最高気温が30度以上の「真夏日」となり、道内の真夏日は44日連続と最長を更新した。

（武藤里美）

日本海側大雨、遠別85・5ミリ

JR78本運休 真夏日44日連続

道内は1日、暖かく湿った空気が流れ込み、前線が南下した影響で、日本海側を中心に激しい雨が降った。午後7時までの12時間降水量は留萌管内遠別町で85.5ミリとなり9月の最多記録を更新。大雨の影響でJR北海道は特急18本を含む列車計78本を運休または部分運休し、約4千人に影響が出た。一方、道東26地点で最高気温が30度以上の「真夏日」となり、道内の真夏日は44日連続と最長を更新した。

道内は1日、暖かく湿った空気が流れ込み、前線が南下した影響で、日本海側を中心に激しい雨が降った。午後7時までの12時間降水量は留萌管内遠別町で85.5ミリとなり9月の最多記録を更新。大雨の影響でJR北海道は特急18本を含む列車計78本を運休または部分運休し、約4千人に影響が出た。一方、道東26地点で最高気温が30度以上の「真夏日」となり、道内の真夏日は44日連続と最長を更新した。

道内は1日、暖かく湿った空気が流れ込み、前線が南下した影響で、日本海側を中心に激しい雨が降った。午後7時までの12時間降水量は留萌管内遠別町で85.5ミリとなり9月の最多記録を更新。大雨の影響でJR北海道は特急18本を含む列車計78本を運休または部分運休し、約4千人に影響が出た。一方、道東26地点で最高気温が30度以上の「真夏日」となり、道内の真夏日は44日連続と最長を更新した。

（綱島康之）